

えんだよい

2024年

7月号



NO.220

シャローム三育保育園

保育園では夏野菜の収穫が始まりました。昼夜の寒暖差が大きいからでしょうか、どの野菜も育ちが良く、先月収穫したジャガイモは10kg以上採れました。クッキングが楽しみです。この夏も子どもたちが大きく成長する経験がたくさんできるといいですね。

園長 村上 渉



避難訓練の様子を配信いたしますのでご覧ください。

*7月23日(火)～8月5日(月) 聖ヶ丘保育専門学校2年生 2名
本園で実習をいたします。良い学びが出来ますようご協力お願いいたします。

今月の予定



日	月	火	水	木	金	土
	1 礼拝 英語教室	2 体操教室	3	4	5	6
7	8 礼拝 英語教室	9 体操教室	10 避難訓練	11	12 お泊り保育 (5歳児)	13 お泊り保育 (5歳児)
14	15 海の日	16 体操教室	17	18	19 保育園職員会議	20
21	22 礼拝 英語教室	23 体操教室	24	25	26	27 布団乾燥
28	29 礼拝 英語教室	30	31 誕生会			

「宝もの」

子どもの頃の「宝もの」を覚えていますか。流行りのヒーローやキャラクターのグッズ。人形や動物のぬいぐるみ、最近は恐竜も人気ですね。タイムカプセルを開けた時に「なんでこんな物が？」という経験があると思います。その当時の事は覚えていないかもしれませんが、きっとその時は何よりの宝ものだったという事ですね。

先日、我が家で息子が一人暮らしを始めたのをきっかけに、部屋を片付けました。すると押し入れや机の中から、いつの間に集めたのかトレーディングカードやキーホルダーなどが大量に出てきました。そしていつ拾ったのか謎の石も。授業参観の時に見た、小学校の机の中以来の衝撃でした。

この石集め、専門的な目線で見ると、決して無意味な行動ではないようです。子どもが落ちている石や棒を拾ったり、草花を摘んだりするのは知的・感覚的好奇心を満たす行動だといわれています。好奇心を満たすことは脳の発達に必要な栄養です。石一つをとっても全く同じ大きさ、形、色はありません。数ある中から気に入って選んだ石はその子にとって特別という事です。

とはいえいろんなものを集めて困る事もあるかと思いますが、これも成長のあかしです。「面白い形だね」「珍しい色だね」などと肯定したあとで、一番気に入ったもの一つだけにするなど上手に声掛けしてみてください。

宝ものは「物」だけではありません。時間に追われて忙しい日々を送っていると、家族が揃う時間は意外と少ないものです。思い出も大切な“宝もの”です。この夏も楽しい思い出をたくさん作ってください。

園長

